

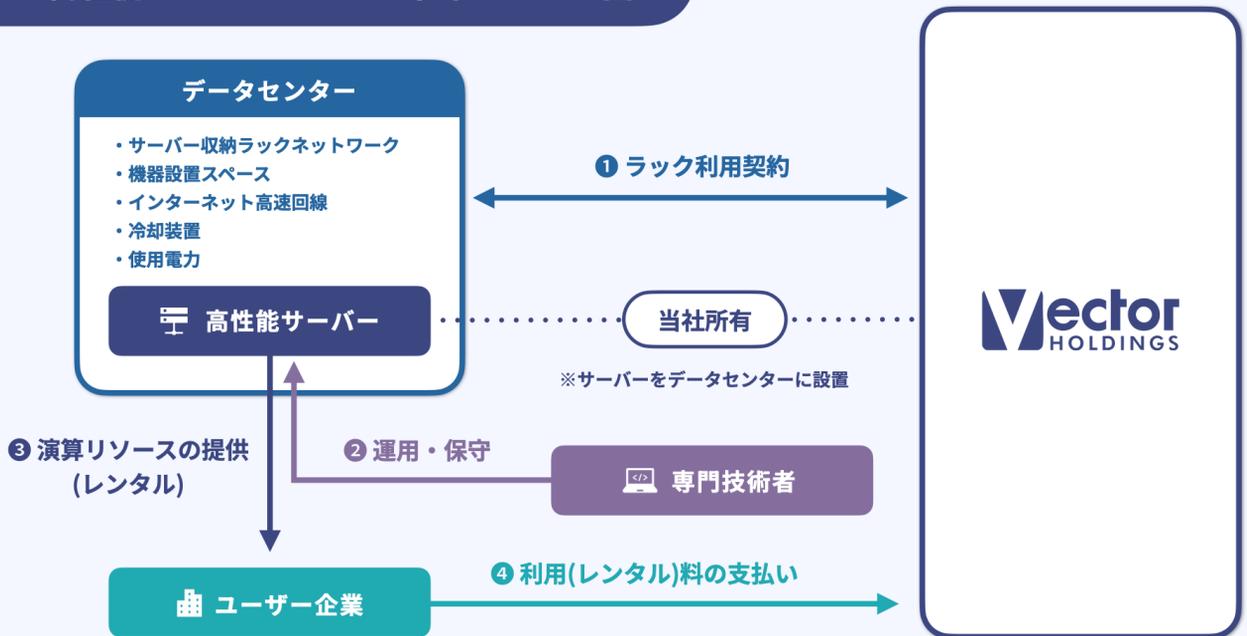
●高性能サーバーレンタル事業について

当社の高性能サーバーレンタル事業は、AIの普及に伴い急速に拡大する計算需要に対応するため、データセンターを基盤とした「演算リソース提供型ビジネス」として展開しております。

本事業は、当社が高性能サーバーを自社で保有し、データセンターのインフラ（電力・冷却・通信環境）を活用して運用することで、その計算処理能力を企業向けに提供するモデルです。

ユーザー企業は初期投資を行うことなく、高性能なAI計算環境を必要な期間・規模で利用することができ、当社は年間契約を中心とした安定的な収益を確保します。

・高性能サーバーレンタル事業スキーム図



① ラック利用契約

ベクター社は、データセンターとラック利用契約を締結し、高速回線・電力・冷却設備などのインフラを活用して、AI処理に用いられる高性能サーバーを設置しています。

② 運用・保守

設置されたサーバーは、専門技術者による運用・保守のもとで管理され、安定した稼働環境が維持されます。

③ 演算リソースの提供 (レンタル)

ベクター社は、この高性能サーバーの処理能力（計算処理機能）を、ユーザー企業に対して年間契約で提供します。ユーザー企業は、ベクター社が設置したサーバーを遠隔で利用し、AI開発やデータ解析などの計算処理を実行することができます。

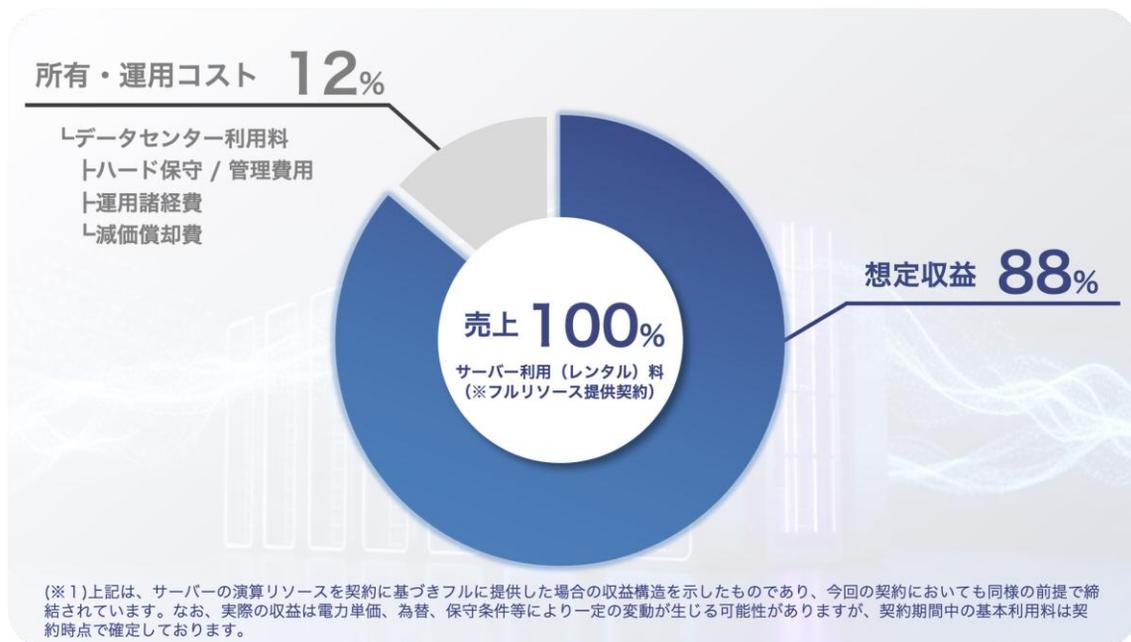
④ 利用(レンタル)料の支払い

その対価として、ユーザー企業は利用料をベクター社に支払います。

本事業は、汎用サーバーではなく高性能GPUサーバー等を対象としており、非常に優れた処理性能を有することから、1台あたりの年間契約単価は高水準となります。また、本契約は、高性能サーバー2台分の演算リソース（計算処理能力）をフルに確保した状態で提供する契約形態であり、契約締結時点で当社の当該リソースは占有されます。

そのため、本収益は稼働状況に応じて変動するものではなく、契約に基づき安定的に発生する収益となります。一方で、当該サーバーを設置・稼働させるためのデータセンター費用（電力・ラック・回線等）は、高性能かつ効率的な設計により、売上に対して相対的に低い比率に収まります。

この「売上単価の高さ」と「コスト効率」の組み合わせにより、高い収益性が実現されます。



・当社所有高性能サーバーの主な優位性

① 経済合理性の向上

従来のGPUベースのインフラと比較して高い処理効率を有しており、開発コストの最適化及び経済的負担の軽減に寄与

② エネルギー効率の最適化

従来のアーキテクチャと比較してエネルギー効率の高い計算処理の実現により、運用コストの抑制、環境負荷の低減にも貢献

③ 高度なセキュリティ技術の実装

データを暗号化したまま計算処理を行う『完全準同型暗号 (FHE)』技術の実装に対応、金融・医療等の機密性の高いデータを扱う領域においても、高いセキュリティレベルを担保したAI運用が可能